

グロービス経営大学院大学に対する改善報告書検討結果

＜大学評価実施年度：2019年度＞

＜改善報告書検討実施年度：2023年度＞

グロービス経営大学院大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、1点の改善課題の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

＜改善に向けた大学全体の取り組み＞

「自己点検・評価報告委員会」において内部質保証の方針を定め、教育研究上の目的・教育理念の実現に向けて、継続的に教育の質の保証及び向上に取り組んでいる。教育の質は教育理念に基づいて定義し、その保証及び向上の責任は「経営会議」が負っている。「経営会議」では、「自己点検・評価報告委員会」からの報告に基づき、全学的観点から検証、支援、助言を行い、教育研究活動の改善に関する審議を行っている。

2019年度の大学評価結果における指摘への対応についても、「経営会議」での審議・決定のもと、各研究科にて研究科長を中心に検討を行い、改善を実施した。このように、内部質保証の推進に責任を負う組織である「経営会議」が中心となり、大学として着実に問題点の改善に取り組んでいることが認められる。

＜是正勧告、改善課題の改善状況＞

提言の改善状況から、改善の成果が十分に表れているといえる。

個別の提言に対する改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は、以下のとおりである。

1. 是正勧告

なし

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	経営研究科において、経営学修士（専門職）及び国際経営学修士（専門職）の異なる学位を授与しているにもかかわらず、それぞれの学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針がほぼ同様の内容となっている。また、両学位課程の教育課程の編成・実施

グロービス経営大学院大学

		方針において、教育課程の実施に関する基本的な考え方を明示していないため、改善が求められる。
	検討所見	国際経営学修士（専門職）の実態を踏まえて、研究科長を中心に学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の検討・改定案の策定を進め、より適切な内容へ方針を修正することとした。その結果、2023年度より経営研究科において、授与する学位ごとに学位授与方針及び教育課程の実施に関する基本的な考え方を明示した教育課程の編成・実施方針を定めており、改善が認められる。

◆ 再度報告を求める事項

なし

以上